調達要求番号：

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書			
物品番号		仕 様 書 番 号	
簡易格納器材		ＨＥ－Ａ１５４００３Ｇ	
		防衛大臣承認	年 月 日
		作 成	平成１１年 ２月 ５日
		変 更	平成２７年 ６月１６日
		作成部隊等名	補 給 統 制 本 部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は，陸上自衛隊において使用する簡易格納器材（以下，“本体”という。）について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１による。

1.3 種類

種類は，**表１**による。

表１－種類

種類	規格	注記
Ａタイプ	全長 32 m，全幅 12 m	固定式
Ｂタイプ	全長 23 m，全幅 13 m	伸縮式
Ｃタイプ	全長 32 m，全幅 12 m	固定式
Ｄタイプ	全長 15 m，全幅 10 m	固定式
Ｅタイプ	全長 22 m，全幅 18 m	固定式
Ｆタイプ	全長 22 m，全幅 9 m	固定式

1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は，仕様書の名称及び種類による。

例 簡易格納器材 Ａタイプ

1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部を成すものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) **規格**

ＪＩＳ Ａ １３２２　建築用薄物材料の難燃性試験方法
ＪＩＳ Ｌ １０９２　繊維製品の防水性試験方法
ＪＩＳ Ｌ １０９６　織物及び編物の生地試験方法
ＮＤＳ Ｚ ８２０１　標準色

b) **仕様書**

ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１　陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

c) **法令等**

テント倉庫建築物の構造方法に関する安全上必要な技術的基準を定める等の件（国土交通省告示第６６７号）

2　一般的事項

この仕様書に規定していない事項は，製造者が規定する仕様及び社内規格並びに商慣習による。

3　製品に関する要求

3.1　構成・機能・性能

構成，機能及び性能は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，**表 7** を標準とするほか，次によるものとし，細部は承認図面による。

なお，配電盤，コンセント，照明及び換気扇の周波数は調達要領指定書によって指定する。

a)　本体は，組立式で，組立て，解体及び移設が容易であるものとし，**図 1**～**図 6** を標準とする。また，その他の構成品については，取り外し可能な構造とする。

b)　本体のフレーム構造は，“テント倉庫建築物の構造方法に関する安全上必要な技術的基準を定める等の件”に合致するものとし，材質は，日本工業規格品又は同等以上のものとする。

c)　本体のカバー膜に使用する膜材は，ポリエステル基布にポリ塩化ビニール樹脂を両面ラミネートし，表面に酸化チタン（TiO_2）光触媒コーティングを施したものと同等以上のものとし，**表 8** の条件を満足するものとする。また，カバー膜の接合は，熱溶着方式を主体とし，縫製部については，十分な防水処置を施すものとする。

d)　本体は，コンクリート基盤，アスファルト，芝地等の地面上に設置できる構造を有するものとする。

3.2　寸法

寸法は，**表 2** によるものとし，細部は承認図面による。

表 2－寸法

単位　m

項　目		規定					
		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	Eタイプ	Fタイプ
全長		32.0	23.0	32.0	15.0	22.0	22.0
縮小時長		－	6.0 以下	－	－	－	－
全幅		12.0	13.0	12.0	10.0	18.0	9.0
有効軒高		4.8 以上	3.8 以上	4.8 以上	4.0 以上	4.9 以上	4.8 以上
室内有効寸法	長さ	30.0 以上	22.5 以上	30.0 以上	13.0 以上	20.0 以上	20.0 以上
	幅	10.0 以上	11.5 以上	10.0 以上	8.0 以上	16.0 以上	7.0 以上
	高さ	4.8 以上	3.8 以上	4.8 以上	4.0 以上	4.9 以上	4.8 以上
出入口	幅	6.0 以上	11.5 以上	6.0 以上	8.0 以上	2.8 以上	5.5 以上
	高さ	4.1 以上	3.5 以上	4.1 以上	3.5 以上	2.5 以上	4.3 以上
人員出入口	幅	0.7 以上	－	0.7 以上	0.7 以上	0.7 以上	0.7 以上
	高さ	1.8 以上	－	1.8 以上	1.8 以上	1.8 以上	1.8 以上
出入口用扉最大開口幅		6.0 以上	9.0 以上	6.0 以上	5.0 以上	2.8 以上	5.5 以上

3.3　製品の色

カバー膜の色は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，**表 3** を標準とするものとし，細部は承認図面による。

表 3－カバー膜の色

種類	標準色
Ｅタイプ以外	表裏，ＮＤＳ　Ｚ　８２０１の色番号 2409（にぶ緑　5G　5.5/6）
Ｅタイプ	表，ＮＤＳ　Ｚ　８２０１の色番号 2301［アイボリー色(1)　10YR　9/1］ 裏，ＮＤＳ　Ｚ　８２０１の色番号 2811［黒(1)　N2］

3.4　製品の表示

製品の表示は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の 2.3 に基づき，１種銘板，２種銘板及び必要箇所に３種銘板を取り付けるものとするものとし，細部は承認図面による。

4　品質保証

監督及び検査は，契約担当官等が定める監督・検査実施要領による。

5　出荷条件

5.1　包装

包装は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，商慣習による。

5.2　包装の表示

包装の表示は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の 4.2 による。

6　その他の指示

6.1　現地指導

契約の相手方は，納入部隊の設置作業に当たり，現地指導を行うものとする。

6.2　附属品・予備品

附属品及び予備品は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，**表 4** による。

表 4－附属品

番号	品名	数量	注記
１	組立部品	１式	本体の組立てに必要な部品
２	アンカー（芝生用）	１式 a)	日本地工ＫＫ２号又は同等以上のものとし，接続工具を含む。
３	金属拡張アンカー（基礎用）	１式 a)	－
４	アンカー打ち込み具	b)	本体の組立て及び解体に使用する工具とし，本体の規格に合わせたものとする。
５	ハンマードリル	b)	
６	コンクリートドリル	b)	
７	両口ラチェットレンチ	b)	
８	両口スパナ	b)	
９	インパクトレンチ	b)	
１０	インパクトレンチ用ソケット	b)	
１１	ナイロンスリング	b)	

表 4－附属品（続き）

番号	品名	数量	注記
１２	シャックル	b)	本体の組立て及び解体に使用する工具とし，本体の規格に合わせたものとする。
１３	安全帯	b)	
１４	プラグボディ	b)	配電盤の受電用コンセント対応のものとする。
１５	補修用具	１式	本体カバー膜の補修に必要なものとする。
注 a) **表 7** の本体に規定する構造強度を有するために必要な数量とし，調達要領指定書によって指定する。 b) 数量は，調達要領指定書によって指定する。			

6.3 承認用図面等

契約の相手方は，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の箇条 6 に基づき，3.1～3.4 及びその他必要な事項についての承認用図面等３部を契約担当官等に提出し承認を受けるものとする。ただし，過去に納入実績があり，前回納入時と変更のない場合は，省略することができる。

6.4 納入書類

6.4.1 添付書類

契約の相手方は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，**表 5** の書類を添付するものとする。

表 5－添付書類

番号	提出書類	数量	注記
1	取扱説明書 （組立マニュアルを含む。）	1	ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の箇条 7 による。 合冊することができる。いずれも日本語版とする。
2	整備資料	1	
3	部品表	1	

6.4.2 提出書類

契約の相手方は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，製品納入時，陸上自衛隊関東補給処古河支処に**表 6** の書類を提出するものとする。

表 6－提出書類

番号	提出書類	数量	注記
1	取扱説明書 b) （組立マニュアルを含む。）	a)	ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の箇条 7 による。 合冊することができる。いずれも日本語版とする。
2	整備資料 b)	a)	
3	部品表 b)	a)	
4	社内検査成績表 c)	1	－
5	材料証明書 c)	1	膜材（国土交通大臣認定書（写）を含む。）
注 a) 数量は，調達要領指定書によって指定する。 b) 過去に納入実績があり，前回納入時と変更のない場合は，官側の承認を得て省略することができる。 c) 部隊又は各補給処納めの場合は，各納地へ提出する。			

6.5 仕様書に関する疑義

仕様書に関する疑義は，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の 8.3 による。

表 7－構成・機能・性能

種類	構成	数量	規定
Aタイプ	本体	1	基準風速V0＝28 m/s，積雪荷重（短期荷重）600 N/以上に耐える構造強度を有するものとし，両端に出入口，両側面中央部に人員用出入口をそれぞれ設けるものとする。[a)]
	配電盤	1	照明等のスイッチ及び外部電源の受電用コンセント付き
	照明	[b)]	単相 AC100 V 用
	換気扇	4	単相 AC100 V 用，換気能力 50 Hz 3 000 m³/h 以上　60 Hz 3 700 m³/h 以上
	採光窓	2	寸法縦 48 cm×横 30 cm 以上，膜透光率 60 %以上，両側面上部にそれぞれ１か所設置するものとする。
	配線ケーブル	1式	配電盤と換気扇を接続するものとする。
	出入口用扉	2組	引き戸式で，出入口に設置するものとする。
	人員用扉	2	本体の人員用出入口に設置するものとする。
Bタイプ	本体	1	基準風速V0＝28 m/s，積雪荷重（短期荷重）1 000 N/m²以上に耐える構造強度を有するものとし，両端に出入口をそれぞれ設けるものとする。また，伸縮は，６人以下で可能なものとする。[a)]
	配電盤	1	照明等のスイッチ及び外部電源の受電用コンセント付き
	照明	[b)]	単相 AC200 V 用
	配線ケーブル	1式	配電盤と照明を接続するものとする。
	内張ガラスグロス	－	燃え抜け防止用のものとし，天井面に設置するものとする。
	出入口用扉	2組	ロープ操作による中央振り分けの芯材カーテンとする。
Cタイプ	本体	1	基準風速V0＝28 m/s，積雪荷重（短期荷重）1 000 N/m²以上に耐える構造強度を有するものとし，両端に出入口，両側面中央部に人員用出入口をそれぞれ設けるものとする。[a)]
	配電盤	1	照明等のスイッチ及び外部電源の受電用コンセント付き
	照明	[b)]	単相 AC100 V 用
	換気扇	4	単相 AC100 V 用，換気能力 50 Hz 3 000 m³/h 以上　60 Hz 3 700 m³/h 以上
	採光窓	2	寸法縦 48 cm×横 30 cm 以上，膜透光率 60 %以上，両側面上部にそれぞれ１か所設置するものとする。
	配線ケーブル	1式	配電盤と換気扇を接続するものとする。
	出入口用扉	2組	引き戸式で，出入口に設置するものとする。
	人員用扉	2	本体の人員用出入口に設置するものとする。
Dタイプ	本体	1	基準風速V0＝28 m/s，積雪荷重（短期荷重）3 000 N/m²以上に耐える構造強度を有するものとし，両端に出入口をそれぞれ設けるものとする。[a)]
	配電盤	1	照明等のスイッチ及び外部電源の受電用コンセント付き
	照明	[b)]	単相 AC100 V 用
	配線ケーブル	1式	配電盤，照明及びコンセントを接続するものとする。

表 7－構成・機能・性能（続き）

種類	構成	数量	規定
D タイプ	コンセント	2	単相 AC100 V 用，15 A，アース付き
	出入口用扉	2組	引き戸式で，本体の両端出入口に設置するものとする。人員用出入口付き
	人員用扉	2	片開き式で，出入口用扉の人員用出入口に設置するものとする。
E タイプ	本体	1	基準風速V0＝28 m/s，積雪荷重（短期荷重）600 N/m²以上に耐える構造強度を有するものとし，片端に出入口を設けるものとする。a)
	配電盤	c)	照明及び換気扇のスイッチ付き
	換気扇	2	三相 AC200 V，換気能力　50 Hz 3 000 m³/h 以上　60 Hz 3 700 m³/h 以上
	照明	b)	単相 AC200 V 用
	配線ケーブル	1式	配電盤，照明及び換気扇を接続するものとする。
	出入口用扉	1	手動軽量シャッターで，本体の片端に設置するものとする。
	人員用扉	2	片開き式で，本体の両端に設置するものとする。
F タイプ	本体	1	基準風速V0＝28 m/s，積雪荷重（短期荷重）4 200 N/m²以上に耐える構造強度を有するものとし，両端に出入口を設けるものとする。a)
	配電盤	1	照明，換気扇のスイッチ及び外部電源の受電用コンセント付き
	換気扇	2	単相 AC100 V 用，換気能力　50 Hz 3 000 m³/h 以上　60 Hz 3 700 m³/h 以上
	照明	b)	単相 AC100 V 用
	配線ケーブル	1式	配電盤，照明及び換気扇を接続するものとする。
	出入口用扉	2組	ロープ操作による中央振り分けの芯材カーテンとする。
	人員用扉	2	片開き式で，本体の両端に設置するものとする。

注 a) 本体の構造強度は，地耐力 5 t/m² の地上面に設置した場合の数値とする。

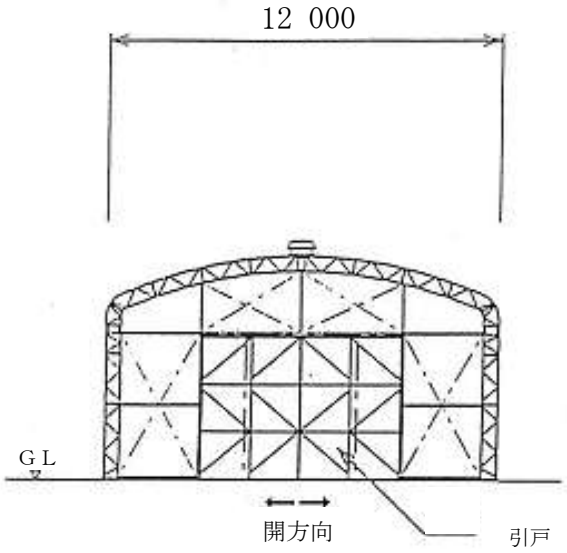
b) 数量及びワット数は，床面照度 150 ルクス（計画設定値）で算出による数量とする。

c) 数量は，調達要領指定書によって指定する。

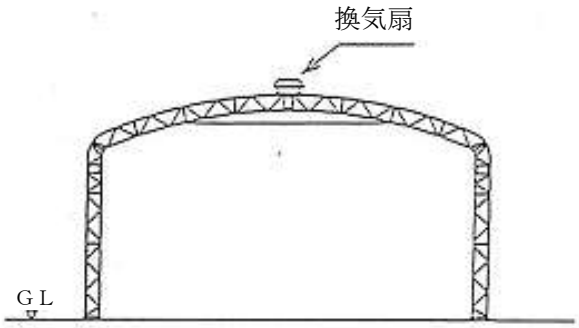
表 8－カバー膜の性能

項目			試験方法	判定基準
全般	引張強さ	縦	ＪＩＳ Ｌ １０９６による。	1 225 N/3 cm 以上
		横		
	伸び	縦		40 %以下
		横		
	引裂強さ	縦		78 N 以上
		横		
耐熱性	引張強さ	縦	80 ℃で 10 分間放置後，当該温度雰囲気中で測定する。 ＪＩＳ Ｌ １０９６による。	変化率 30 %以下
		横		
	伸び	縦		変化率 15 %以下
		横		
	引裂強さ	縦		変化率 30 %以下
		横		
耐気候性	引張強さ	縦	ウェザーメータ 200 時間照射後， ＪＩＳ Ｌ １０９６による。	変化率 15 %以下
		横		
	伸び	縦		変化率 15 %以下
		横		
	引裂強さ	縦		変化率 25 %以下
		横		
耐久性	引張強さ	縦	ウェザーメータ 2 000 時間照射後， ＪＩＳ Ｌ １０９６による。	強度保持率 初期強度の 60 %以上
		横		
耐水性			ＪＩＳ Ｌ １０９２による。	1 000 mm 以上
摩耗強さ			ＪＩＳ Ｌ １０９６のＢ法による。 （スコット形 1 kg×1 000 回）	外観に異常がないものとする。
たい（褪）色性			ウェザーメータ 200 時間照射後	著しい変退力のないものとする。
防炎性			ＪＩＳ Ａ １３２２による。	２級以上

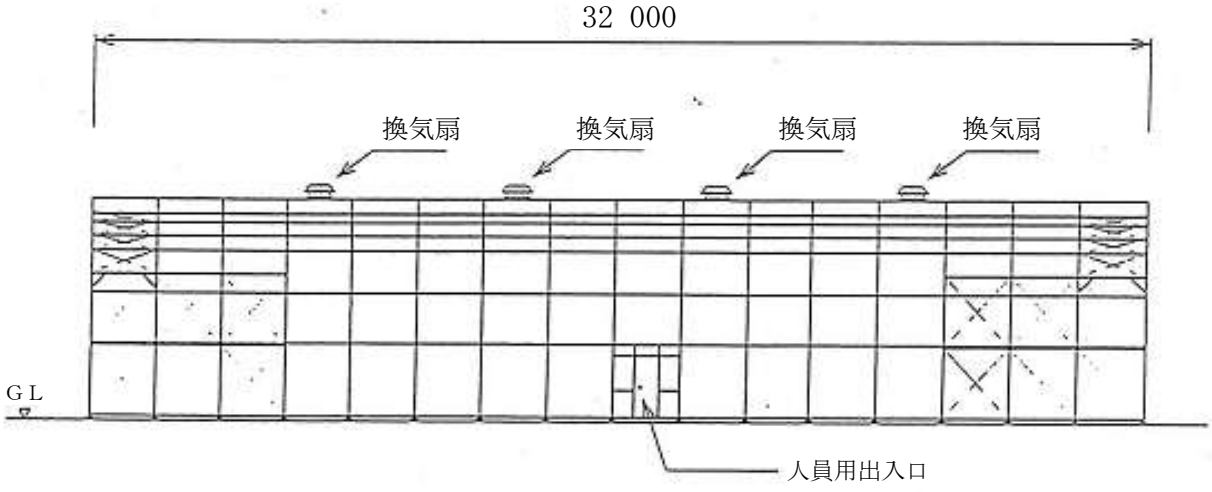
単位　mm



立面図（妻面）



断面図

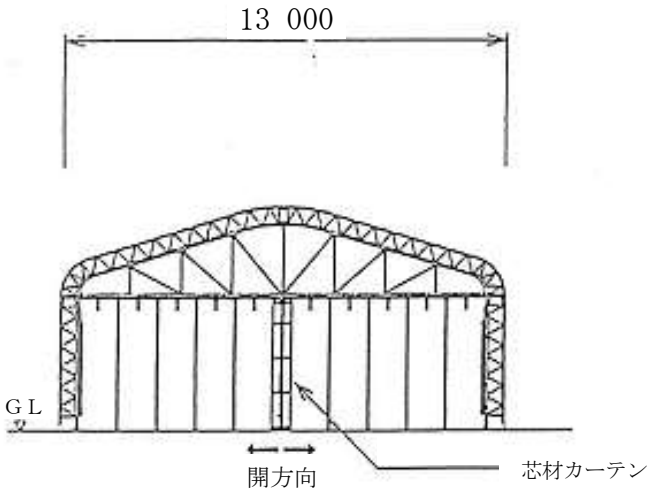


立面図（側面）

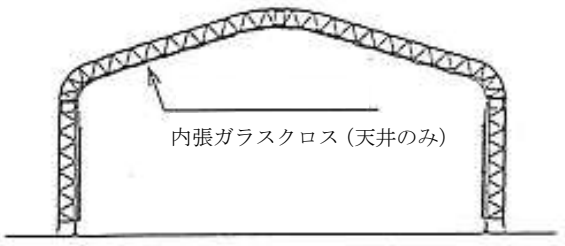
注記　この図は，一例を示すもので，特定の製品を示すものではない。

図 1－簡易格納器材　Aタイプ

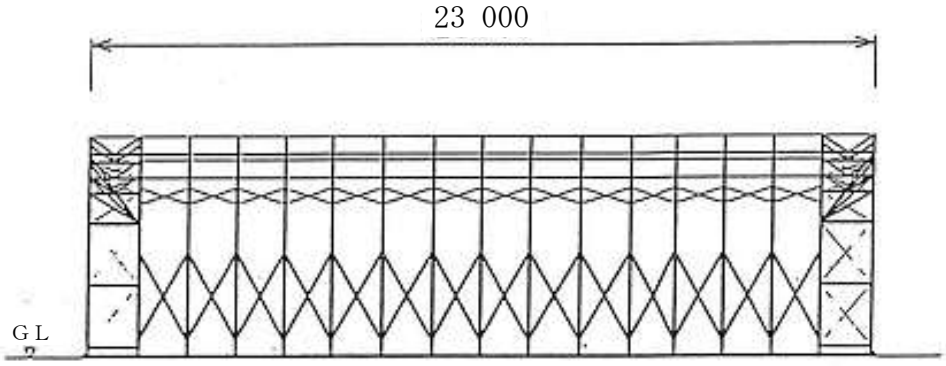
単位　mm



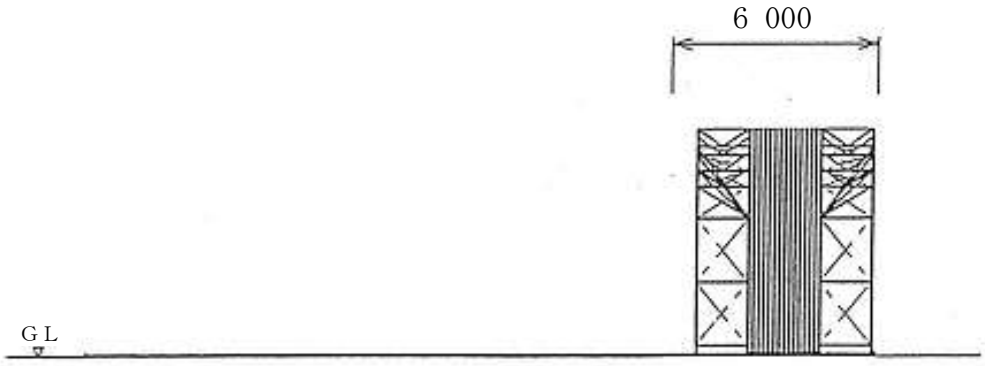
立面図（妻面）



断面図



立面図（側面）

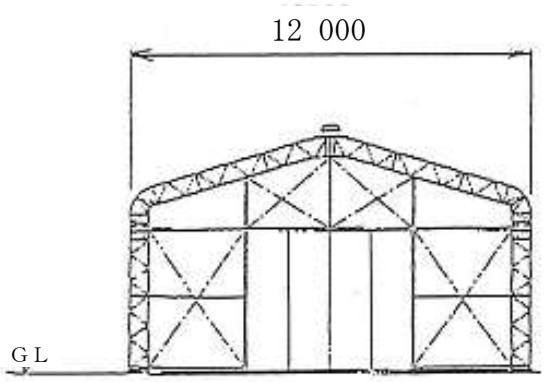


立面図（側面）縮めた状態

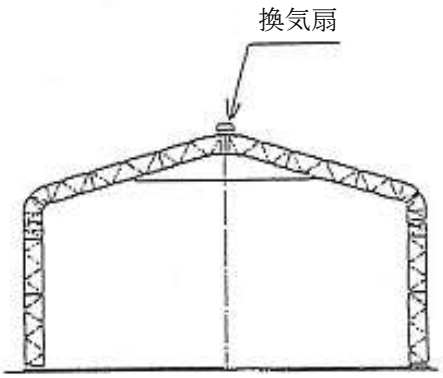
注記　この図は，一例を示すもので，特定の製品を示すものではない。

図 2－簡易格納器材　Bタイプ

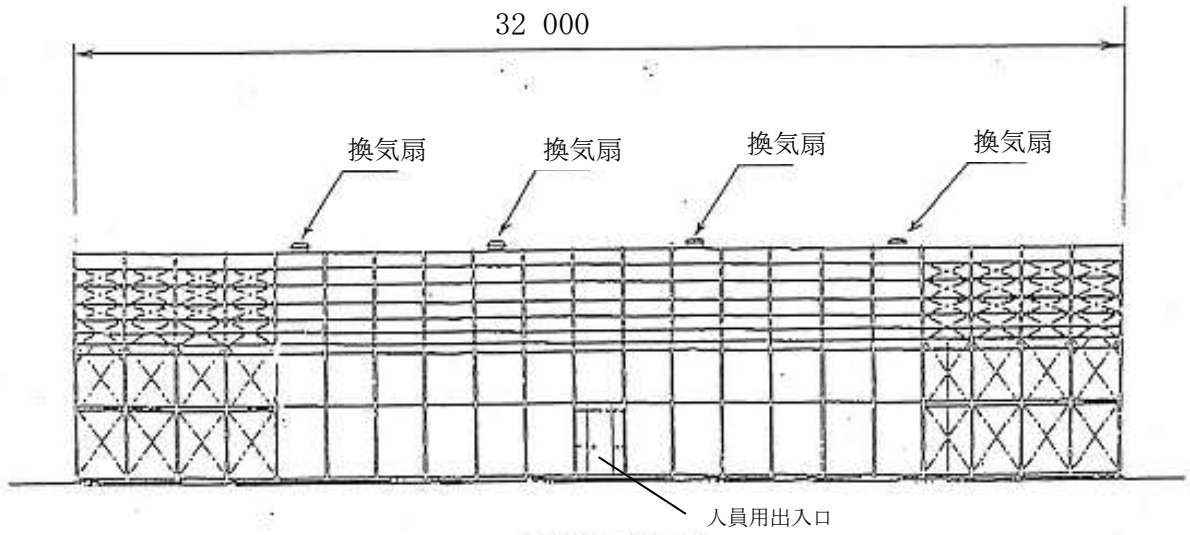
単位　mm



立面図（妻面）



断面図

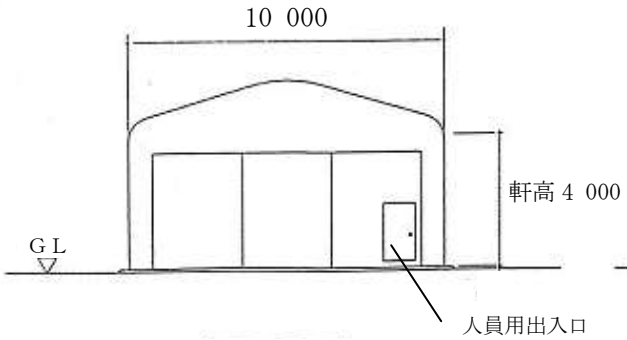


立面図（側面）

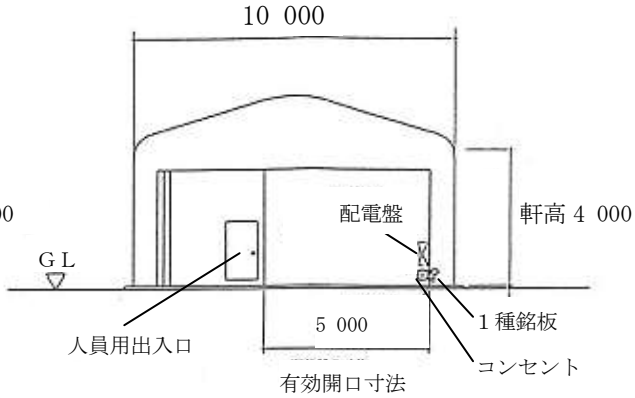
注記　この図は，一例を示すもので，特定の製品を示すものではない。

図 3－簡易格納器材　Cタイプ

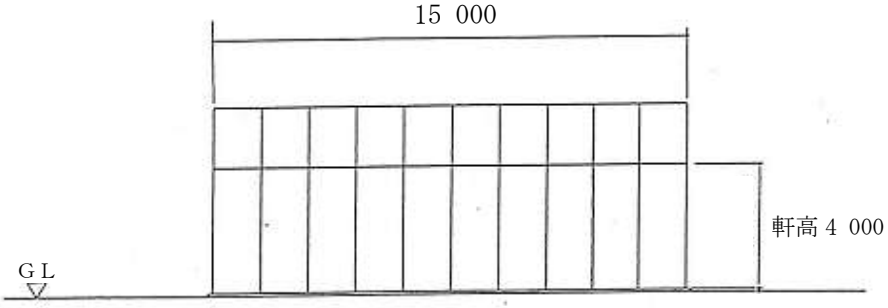
単位　mm



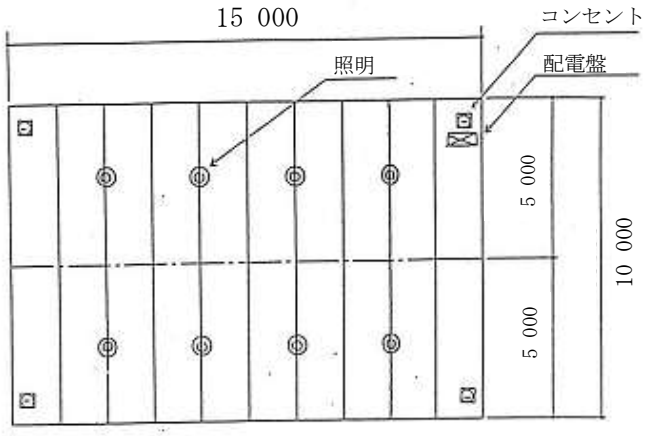
立面図



立面図



立面図

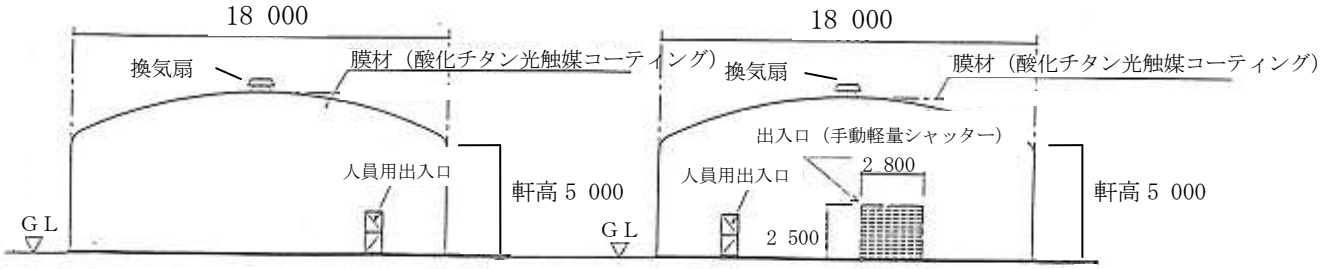


屋根伏図

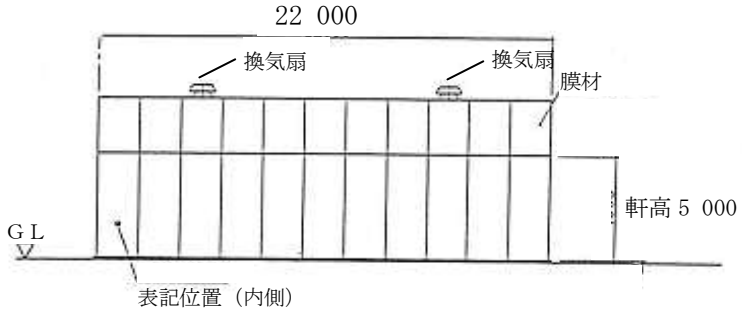
注記　この図は，一例を示すもので，特定の製品を示すものではない。

図 4－簡易格納器材　Dタイプ

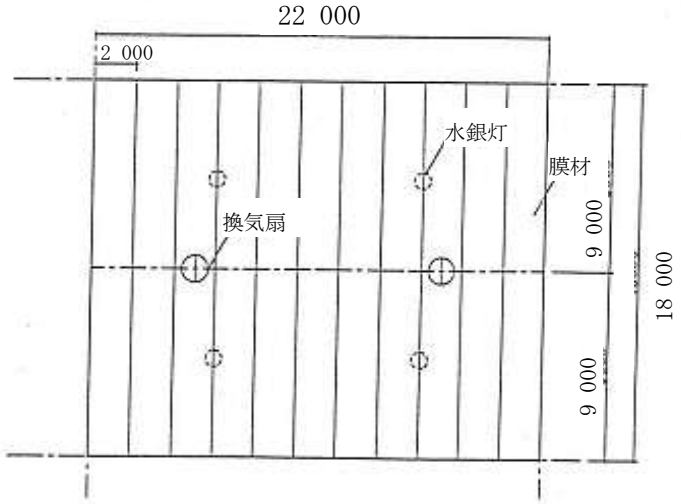
単位　mm



立面図（裏面）　　立面図（表面）



立面図（側面）

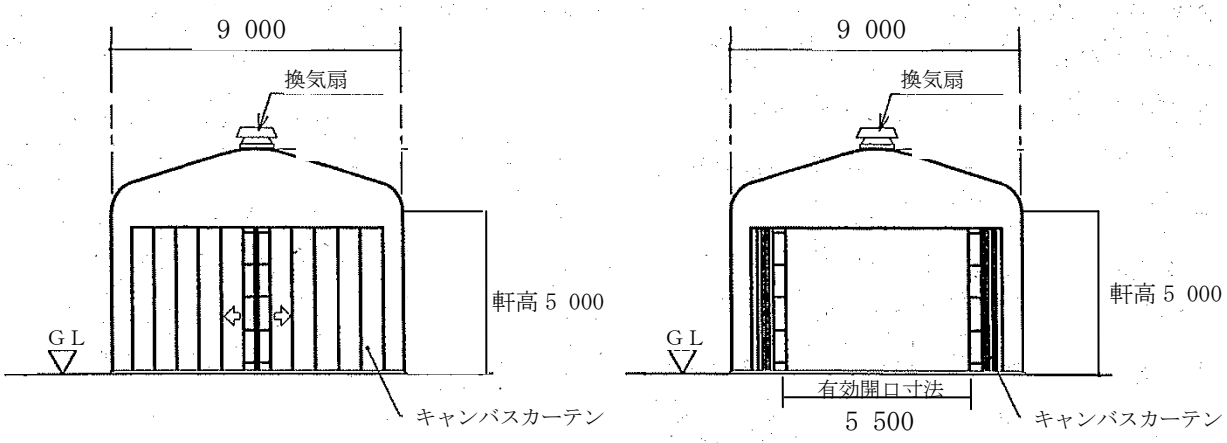


屋根伏図

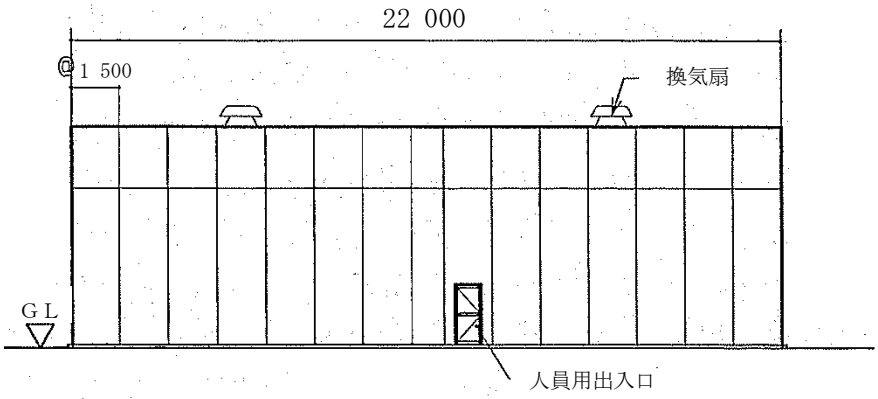
注記　この図は，一例を示すもので，特定の製品を示すものではない。

図 5－簡易格納器材　Eタイプ

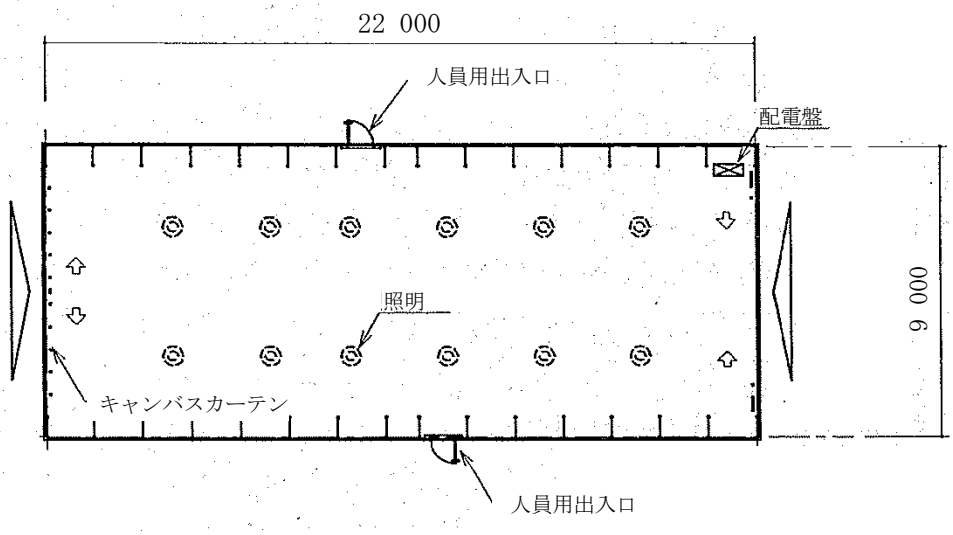
単位　mm



立面図　　立面図



立面図



平面図

注記　この図は，一例を示すもので，特定の製品を示すものではない。

図 6－簡易格納器材　Ｆタイプ